

## 20××年予測 タイのブロイラー：生産は4%増、輸出は6%増～FAS～

〔ブロイラー需給推移〕 1千ト、枝肉換算 *推定 予測	20××		
	20××	20××	20××
年初在庫	133	100	81
生産量	1,500	1,570	1,640
輸入量	1	1	1
供給総量	1,634	1,671	1,722
輸出量	504	530	560
人間消費	1,020	1,050	1,080
損失他	10	10	10
総消費	1,030	1,060	1,090
年末在庫	100	81	72

鶏肉小売価格(キロ当たりパーツ)	20××	
	(1パーツ=約4円)	20××
1月	77.14	82.50
2月	72.50	82.50
3月	77.26	83.45
4月	85.44	83.50
5月	87.50	83.50
6月	90.00	83.50
7月	94.40	
8月	92.50	
9月	84.17	
10月	82.50	
11月	82.50	
12月	82.50	
平均	84.03	83.16

農務省の海外農業局（FAS）によれば、20××年第2四半期以降、タイのブロイラー業界は収益を上げてきている。業績は良いが、業界筋によれば、一貫生産企業は、飼育や処理施設の拡大には慎重になっている。数か所の子取り用やブロイラー養鶏場でニューカッスル病が発生したためだが、生産を大幅に減少させたわけでない。このため、20××年のブロイラー生産は5%増の157万トに、20××年は4%増の164万トとなる見通し。

最大の一貫企業のひとつであるサハ・ファーム・グループは8か月間、工場を閉鎖していましたが、20××年下半期になって稼働を再開し、鶏肉（主に未調理品）輸出を始めた。サハ・ファームの1日処理羽数は約20万羽。

鳥インフルエンザなどによる食品安全、健康懸念を緩和しようと業界は飼育システムの改善を強化している。2004年、高病原性鳥インフルエンザの発生で、業界は大打撃を受けた。現在、すべての一貫生産企業は厳しいバイオセキュリティを導入している。このため、と殺時の平均生体重は4-5年前の1羽当たり2.0-2.1キログラムから2.3-2.4キログラムまで重量化した。

20××年7月の国産トウモロコシの平均価格は1月のキログラム当たり7.49パーツ（1パーツ4円換算で30円）から10.50-11.00パーツ（42-44円）まで高騰した。これは20××年後半にトウモロコシの輸出が記録的な多さとなったことと、20××-15年の収穫が遅れるとの予測があったため。20××年8-12月の価格はキログラム当たり9.00-9.50パーツ（36-38円）となる見通し。

大豆粉の価格も20××年1月のキログラム当たり19.14パーツ（77円）から世界的な価格上昇で、7月には20.00-21.00パーツ（80-84円）まで上昇した。

1日雞は1羽当たり19.50パーツ（78円）から7月になると17.50パーツ（70円）まで下落。しかし、8月になるとサハ・ファームからの需要が高まり、19.00-19.50パーツ（76-78円）まで上昇した。

20××年1-7月の平均ブロイラー生産コストはキログラム当たり38-40パーツ（152-160円）で、前年同期比では9-11%高。しかし、20××年1-7月の鶏生体平均価格は前年同期比3%安のキログラム当たり41.31パーツ（165円）。20××年8月現在の平均生産コストはキログラム当たり41パーツ（164円）。内訳は1日雞が9パーツ（36円）、飼料26パーツ（104円）、ワクチン・薬1パーツ（4円）、賃金などが5パーツ（20円）。

20××年1-6月の鶏肉輸出（調理品、未調理品合わせて）は3%増の25万336ト。主要輸出先は日本とEUで、対日輸出のシェアは41%。EUは38%。

1-6月の対EU鶏調理品輸出は9%増の9万2千645ト。未調理品は10%増の9千53ト。対日未調理鶏肉輸出は前年同期のわずかに51トから1万4千397トまで拡大した。しかし、調理品の輸出は13%減の8万1千885ト。

20××年のブロイラー輸出は5%増の53万トとなる見通し。このうち約80%が調理鶏肉製品で20%は未調理品。20××年は生産増と輸出需要の継続で、6%増の56万トと見込まれている。

200××年1月に発生した高病原性鳥インフルエンザで、未調理品の輸入は禁止されたが、2013年12月25日、日本政府はタイ産フローゼンの未調理鶏肉輸入を認可した。日本に加え、EU、香港、南アフリカ、バーレーン、ロシア、アラブ首長国連邦、カタールも輸入を再開した。

EU向けスチームされたダイス・シェーブ・カットのスキンレス・ボンレス・プレスト輸出価格はCIFでト当たり5千-6千ドル（1USD、120円換算で60-72万円）。

日本向けボンレスの鶏レッグ調理品輸出価格はCIFでト当たり4千800-5千200ドル（1USD、120円換算で57万6千-62万4千円）。未調理のフローゼン・ボンレス・プレストの切り身は平均でト当たり3千400-3千500ドル（40万8千-42万円）。